

市町村との意見交換会の概要

平成 26 年 12 月 25 日
関西広域連合本部事務局

■日	時	平成 26 年 12 月 25 日（木）13:00~14:55
■場	所	大阪府立国際会議場 10 階 1001-2 会議室
■出	席	者 別添名簿のとおり
■議	題	関西広域連合の取組について ・平成 27 年度事業・予算案について

◇井戸連合長挨拶

◇連合長及び各委員から配布資料に基づき各所管の平成 27 年度事業・予算案を説明

◇意見交換における主な発言概要

※○市町村長からの意見 ◆広域連合からの回答

広域医療について

(佐々木 南丹市長)

- 南丹市では、過疎医療とりわけ救急医療に大変課題があるが、この点から言うと、ドクターヘリの空白地域が解消したとしても、ドクターヘリー機に乗れる人数は限られていることから、特に大規模な事故、水害や土砂災害時にも対応できるように拡大ができないか。
- ドクターヘリの夜間・悪天候時の運航について研究していただけないか。

(飯泉 委員)

- ◆もし事故が起こり、けが人が出て、そうした対応が必要な場合には、複数のドクターヘリや消防防災ヘリが順次駆けつけることができる体制ができており、福知山で起こった事故の時にも複数のヘリが対応した。
- ◆ドクターヘリの夜間運航への対応のために検討委員会を設け、その関係者会議の中で、夜間運航に適した機体の確保、夜間における搭乗パイロット、医師、看護師の確保、また、騒音問題等の課題を抽出して、それをどう解決していくのかといった取組を進めている。

地方創生について

(谷口 相生市長)

- 私どもは国の地方創生の考え方が示される前から、人口減少への歯止め策に取り組んでいるが、一自治体で出来ることには限りがあるので、今後策定される国の総合戦略等が明らかになった場合、関西広域連合として、その内容を踏まえ、引き続き、要望・提案を行っていただきたい。

(川口 島本町長)

- 文科省を京都に、経産省を大阪又は兵庫に持ってくるなど国の機関を地方に分散することにより、東京の一極集中が改まっていくのではないか。

(井戸 連合長)

- ◆地方創生は、東京一極集中の阻止と人口減少社会化においても豊かな生活が出来るような地域づくりを進めることにあると考える。

- ◆関西地域は、大都市から農村漁村まで含めている日本の縮図のようなところであり、その日本の縮図のような関西から一つ、地方創生モデルを提案できるように努力していきたい。そのような意味で研究会を発足した。
- ◆国の機関の移転について、我々はより現実的な対応として、首都機能のバックアップを関西でやるぞと、国のBCPの中に、関西を第二の首都として位置づけることを強く要請をし、国への要請事項として入れているのも、その趣旨の実現を図ろうとしているからである。
(門川 委員)
- ◆京都では、府市、経済界一体となって観光庁と文化庁の移転をかねてから要望し続けている。政府機関を関西に移すといった発想は非常に大事だと思う。

地域に飛び出す公務員を応援する首長連合について

(谷口 相生市長)

- 地域に飛び出す公務員を応援する首長連合は、公務員が公務とは別に、プラスワンで一住民として社会貢献活動・地域づくり活動・自治会などの活動に参加することに、住民目線での行政の推進につながるものと考え、このような公務員の活動を応援するための組織である。今後行政が市民との参画と協同を進めるうえでも必要であると考えてるので、趣旨に賛同いただける首長には、是非、参加をお願いしたい。

(井戸 連合長)

- ◆地域に飛び出す公務員を応援することについては、この7月の全国知事会でも、地域に飛び出す公務員応援宣言という宣言を出させていただいた。これは我々も挙って公務員の地域活動を積極的に応援していきたい。
(平井 委員)
- ◆特に地方に行けば行くほど、公務員、市役所や町村役場あるいは県庁の果たす地域の役割が公私の私のほうでも大きいわけであり、これができる環境づくりをしていく必要がある。多くの市町村長にもご賛同いただきたい。

お盆時期の閉庁等について

(山中 芦屋市長)

- 芦屋市では、お盆の3日間の閉庁や年末及び年度末・年度初めの土曜日の3日間の開庁をすることで、住民にそれほど不便をかけていない。行政が節電の機運を盛り上げる旗振りをするということの効果はかなりあると思う。

(井戸 連合長)

- ◆今回の調査結果なども踏まえながら十分に検討したい。

広域観光・文化振興について

(芝田 河内長野市長)

- 関西の言わばスワット分析、強みとか弱みを考えた場合、関西の強みは、やはり歴史文化観光であり、十分東京に対抗できるのではないか。先日ナショナル・ジオグラフィックで、世界で訪れたい20の都市で、日本で唯一高野山が選ばれた。京都市、奈良市や高野山が各々で頑張るのではなく、連携して関西の魅力を打ち出していく形にしなければならない。点ではなくて線で繋いでいく、更に広域連合として面にどう展開できるかという積極的な戦略を研究してやっていかないといけない。

(平井 局長)

- ◆関西の強みはやはり1300年を超える都の歴史をもつ奈良・京都そして丹後王国のように都より古い歴史を持つ地域が、関西圏域に点在している。これを点ではなく、線へ、そしてまた面へ繋いで広域的にルートをつくり、海外に打ち出していくことに力を入れたい。また、関西広域連合の観光分野では、KANSAI 国際観光 YEAR として、毎年テーマを決め、そのテーマに絞り込んだPRに力を入れている。来年はまさにテーマが歴史遺産等ということで、関西全体の歴史文化遺産や地質等の遺産などを一年間を通して打ち出していきたい。

広域観光・文化振興（山陰海岸ジオパーク活動の推進）について

(小林 若桜町長)

- 鳥取県と兵庫県の県境に国定公園氷ノ山があり、両県と兵庫県内1市3町により、過酷なトレイルレースなどの山岳スポーツを行い、観光振興を図っている。関西圏域にはたくさん山があり、山岳の観光あるいはスポーツにも広域連合として取り組んでいただきたい。

(平井 委員)

- ◆ジオパークエリアは、神鍋あるいは扇ノ山といったエリアまでであるが、氷ノ山もエリアの中に事実上入ると思う。兵庫県と連携をしながら自然を雄大に楽しんでもいただけるスポットとして高めていければと考えている。また、関西広域連合でも地質の道として、自然を活かしたルート設定を観光面でも考えていこうと進めているが、そのみならず両県での連携の中でも進めていければと思う。

広域産業振興（農林水産部）について

(原 佐那河内村長)

- 若者などの都市から農村回帰による担い手不足の解消、あるいは農産物の国内、更に広く海外への販路拡大など、町村が関西広域連合の活動メリットが実感できるような取組をお願いしたい。

(仁坂 副連合長)

- ◆農業は、それぞれの県がそれぞれ取り組んでいるのと排他的にどちらかがやるのではなくて重層的にやっていることから、やや遅れている。和歌山県と香港のルートが厚いので、広域連合全部と一緒にやろうと話をさせてもらったりしている。私としては、みんなだまどまってやりたいと思う。

再生可能エネルギーについて

(原 佐那河内村長)

- 先般、四国電力、中国電力等は、10月から太陽光発電などの新規受け入れを中断した。国や各電力会社において、再開に向けての制度改正等の検討がなされているが、今後の再生可能エネルギーの事業化については、はっきりと見通せない状況ではないか。その売電益が地域振興の重要な財源になるという視点からも再生可能エネルギーの拡大の取組について、積極的な支援をいただきたい。

(飯泉 委員)

- ◆接続保留の問題については、36道府県や200社を超える企業で構成する自然エネルギー協議会から、環境省や経済産業省に提言をしている。また、資源エネルギー庁にお

いては、エネルギーの小委員会が立ち上がり検討をすすめているところであり、四国電力からは年内の解決そして接続保留問題の解消を進めたいとの話があったので、しばらくは見守っていただくが、ご安心をいただければと思う。

広域環境保全について

(小林 若桜町長)

○鳥取県東部に、5、6年前からシカがたくさん出ている。このシカは東の方から来たと聞いている。3町村が、それぞれ千頭ほど捕まえているがこれを止めると、あっという間に鳥取西部まで行くのではないかと心配している。シカの移動には県境がないため、広域連合でも強力に取り組んでいただきたい。

(井戸 連合長)

◆兵庫県では今、年間、約4万頭の処分をしている。シカの移動には府県域が無いので、京都府や鳥取県との一斉捕獲や森林動物研究センターの指導を受けながら大量捕獲方式の駆使、また、猟友会の皆様の協力を得ながらできるだけ多くの捕獲を進めていきたいと考えている。

その他

(中嶋 甲賀市長)

○地方においては、ゴルフ場利用税は極めて貴重な財源となっているため、関係市長又は知事においては、これを堅持することについて一層のご理解をいただきたい。また、関西広域連合においても、これを堅持するというごお願いしたい。

(森山 摂津市長)

○東京オリンピックについて、来年、万博跡地に国際ルールに基づくサッカー場がオープンすることから、関西広域連合においては、関西に分散誘致することを決議し、国に発信してはどうか。

(井戸 連合長)

◆ゴルフ利用税は堅持するという基本姿勢で私どもも一緒にスクラムを組ませていただきたいと考えている。
◆オリンピックの分散開催の誘致決議については、もう少し煮詰まったら、そういう動きになるかと思うが、現時点で詳細が不分明なところがあるので、その辺を見極めたうえで、働きかけていく方向で十分議論したい。

市町村との意見交換会 出席者名簿

(関西広域連合)

広域連合長	い と 井戸	としぞう 敏三	(兵庫県知事)
副広域連合長	にさか 仁坂	よしのぶ 吉伸	(和歌山県知事)
委員	みかづき 三日月	だいぞう 大造	(滋賀県知事)
委員	ひらい 平井	しんじ 伸治	(鳥取県知事)
委員	いいずみ 飯泉	かもん 嘉門	(徳島県知事)
委員	かどかわ 門川	だいさく 大作	(京都市長)
副委員	なかじょう 中條	りょういち 良一	(堺市副市長)
	ひらい 平井	ゆうこ 裕子	(広域観光・文化振興局長(京都府商工労働観光部観光政策監))
	かしおか 檉岡	そうきち 宗吉	(広域産業振興局長(大阪府商工労働部次長))

(近畿市長会)

会 長	たにぐち 谷口	よしき 芳紀	(兵庫県 相生市長)
副会長	ささき 佐々木	としのり 稔納	(京都府 南丹市長)
副会長	きもと 木本	やすひら 保平	(大阪府 茨木市長)
理 事	なかしま 中嶋	たけし 武嗣	(滋賀県 甲賀市長)
監 事	しばた 芝田	けいじ 啓治	(大阪府 河内長野市長)
相談役	もりやま 森山	かずまさ 一正	(大阪府 摂津市長)
相談役	やまなか 山中	けん 健	(兵庫県 芦屋市長)

(近畿府県町村会)

京都府町村会	副会長	ほり 堀	ただお 忠雄	(京都府 和束町長)
大阪府町村長会	副会長	わだ 和田	きちえ 吉衛	(大阪府 忠岡町長)
大阪府町村長会	副会長	かわぐち 川口	ひろし 裕	(大阪府 島本町長)
奈良県町村会	会 長	うえむら 植村	いえただ 家忠	(奈良県 高取町長)

(鳥取県町村会)

副会長	こばやし 小林	しょうじ 昌司	(若桜町長)
-----	------------	------------	--------

(徳島県市長会)

会 長	はら 原	ひでき 秀樹	(徳島市長)
-----	---------	-----------	--------

(徳島県町村会)

会長代理	はら 原	ひとし 仁志	(佐那河内村長)
------	---------	-----------	----------